

小百合キンダーホームの自己評価

令和6年3月8日

A…よくできた B…できた C…一部改善が必要 D…改善しなければならない

1. 保育理念・保育観

1	園の保育理念・保育方針・全体的な計画を全職員に周知している	B
2	園の保育方針を基にした、全体的な計画が立てられている	A
3	定期的に保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている	A
4	全体的な計画を基に行事や園外保育を計画し、実践・分析・評価している	A

毎年全職員参加の総括会議で園の保育理念・保育方針等確認している。また、行事や園外保育の後には振り返りを行い今後の改善に努めている。

2. 保育計画・保育実践と振り返り

1	全体的な計画を基に、各クラスで年間の目標を立案し計画的に保育を行っている	A
2	子どもの発達を理解し、その先の見通しを持った保育を工夫している	B
3	配慮が必要な場合は、職員が共通認識を持ちその子に応じた対応をしている	A
4	保育の振り返りを定期的に行い、今後に生かせるようにしている	A

年間を通して月間の目標や日案を総括会議で各クラス話し合い立案し、計画的に保育を行っていきけるようにしていった。また、クラス事にその日の反省・次に生かせるよう振り返りの時間を毎日設ける事が出来た。

3. 環境・安全

1	一人一人が安心して過ごせる環境を工夫している	B
2	園の保育方針を基にした、環境構成が整えられている	B
3	職員一人一人が健康・安全に対する認識を共有している	A
4	職員が危機管理意識を常に持ち、緊急時に対応できるようにしている	A

クラスにある玩具が安全であるかどうか等、常に注意していなければいけない所が足りなかった様に感じた。細かな事だからこそ一人一人が意識を持ち、ヒヤリハットに気づくようになっていく。

4. 食育

1	職員が食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせた食育計画を立てている	A
2	栄養士・保育士等が連携し、食育を積極的にすすめている	A
3	食材の安全に配慮した上で、様々な食材を味わえるようにしている	A
4	離乳食やアレルギー除去食などの特別食に配慮している	A

食育バイキングやクッキング等食育に関する保育を以前のようになった。しかし、特定の年齢に偏った食育活動であったので、年齢に合わせた食育活動を考え実践していきたい。

5. 職員構成・役割分担・研修

1	職員の仕事や役割を明確にし、連携しながら円滑に保育が進められるよう心がけている	A
2	園内・園外研修の年間計画を立て、実行している	A
3	各職員が保育を深めるための研修を積極的に行っている	A

職員が学びたいテーマで園内研修を行う事が出来た。また、年間の日程を決め常勤・非常勤共に参加出来るよう2回に分け行う事で全員が参加出来た。あとは時間を決め、効率よい研修時間となるよう工夫していきたい。

6. 保護者支援・子育て支援

1	保護者に対し、園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている	A
2	保護者の状況等、個人情報への漏えいに気を付けている	A
3	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感するよう、心掛けている	B
4	地域で子育てをしている親子に配慮し、園児との交流を積極的に進めている	C

日々の保育を写真をつけ配信しており、保護者の方にも定着してきた。また、登降園時等保護者と話す機会も増え、その日の様子等あいさつと一言付け加えるよう心掛けてきた。今後、SNSの利用も加えHPも有効的に活用していけるようにする。

7. 小学校や地域社会との連携

1	定期的に地域の保育園や幼稚園・小学校との交流を行っている	C
2	町内会や地域の方との交流を積極的に行っている	A
3	ボランティアや実習生を受け入れる意義を理解し、受け入れる体制が整えられている	A

町内の運動会への参加や地域のS型デイサービスの訪問も行けるようになり、積極的に交流が持てたのではないかと感じる。